

ISO/TC37 および ISO/TC46 国内審議団体の移行について

2013年4月1日より、ISO/TC37（専門用語、言語、内容の情報資源）およびISO/TC46（情報とドキュメンテーション）の国内審議団体（事務局）が、日本規格協会から情報科学技術協会（INFOSTA）に移行されました。

ISO（国際標準化機構：本部ジュネーブ）は、ご存じの通り参加国の国家標準化機関の連合であらゆる分野の国際標準を決める非政府機関です。この中にTC（技術委員会）と呼ばれる専門分野ごとの委員会（約200）があり、設立順に番号が付与されています。

今回 INFOSTA が事務局を引き受けることになったのは、ISO/TC37 および ISO/TC46 の国内審議団体です。

ISO/TC37（専門用語、言語、内容の情報資源）は、専門用語、言語、情報資源の応用などの分野の国際標準を扱っています。組織としてはTCのもとにSC（分科委員会）が5つと、2つのWG（ワーキンググループ）があります。

- ・TC37/SC1：（専門用語作成の）原則と手法
- ・TC37/SC2：用語辞書編纂方法
- ・TC37/SC3：用語、情報、内容の管理システム
- ・TC37/SC4：言語資源マネジメント
- ・TC37/SC5：翻訳、通訳及び関連技術
- ・TC37/WG8：オントロジー—言語的、用語的、知識構成側面
- ・TC37/WG9：データカテゴリ登録

INFOSTA の SIG（ターミノロジー部会）ではTC37に関連する事項についても議論や勉強を行っています。

TC46（情報とドキュメンテーション）は、図書館、ドキュメンテーション、記録管理(文書管理)、出版・流通などの分野の国際標準を扱っています。組織としてはTCのもとにSC(Subcommittee)分科委員会が4つと、4つのWG(ワーキンググループ)があります。

- ・TC46/SC4：技術的相互運用性
- ・TC46/SC8：品質—統計及び評価
- ・TC46/SC9：識別と記述
- ・TC46/SC11：アーカイブズ／記録管理
- ・TC46/WG2：国名コード
- ・TC46/WG3：書き言葉の変換
- ・TC46/WG4：用語
- ・TC46/WG5：アーカイブボックス

TC46 国内対策委員会のメンバーには、INFOSTA の会誌編集などに参加された方も多く皆様の専門分野に近い規格を審議・制定しておりますので、今まで以上に関心を持っていただけたら幸いです。